

議会BCPを発動しました

田原市議会では、田原市における豚コレラの被害状況が災害に相当すると判断。議長は、2月15日（金）に「議会BCP」を発動しました。この発動は、昨年3月の計画策定以来、初めてのことです。

◆ 2月15日（金）田原市議会災害対策会議 第1回調整会議を開催

田原市における豚コレラ被害の状況と防疫措置について確認した後、議会としての対応方針を決定しました。

対応方針①：豚コレラの被害状況及び防疫措置について、議会と執行部において情報共有を密に行うよう努めること

対応方針②：豚コレラ被害の早期終息を図るため、執行部職員が行う防疫作業の妨げとならないよう、議会議員は執行部職員の議会対応にかかわる業務負担の軽減に努めること

②の決定に伴い、3月定例会におけるすべての一般質問（代表質問・個人質問）を自粛、または取り下げることにしました。

また、会議などでは防災服を着用することとしました。



第1回調整会議

◆ 2月25日（月）田原市議会災害対策会議 第2回調整会議を開催

2月24日に防疫措置が完了したことなどを確認した後、議会としての対応を決定しました。

対応①議会BCPを継続するが、2月26日以降の会議では平服とする。



議会事務局事務室に看板を設置

◆ 3月28日（木）田原市議会災害対策会議 第3回調整会議を開催

田原市における豚コレラ被害の状況と防疫措置について確認した後、議会BCP発動を継続することを決定しました。



平成31年3月定例会 本会議



議員懇談会

● 田原市における豚コレラの発生状況と対応（3月末までの主なもの）

2月6日：田原市内の農場にて豚コレラの感染確認

約1,600頭の殺処分を開始

田原市豚コレラ防疫対策本部を設置

2月7日：田原市内の主要道に消毒ポイント設置

2月13日：田原市内の農場にて2例目の豚コレラの感染確認

約17,000頭の殺処分を開始

市職員も全庁的に防疫作業に従事（24時間体制）

2月15日：愛知県知事からの要請により、自衛隊も殺処分に参加

2月24日：田原市の豚コレラ発生農場（2例目）の防疫措置完了

3月28日：田原市内の農場にて3例目の豚コレラの感染確認

約8,000頭の殺処分を開始

田原市内の主要道に消毒ポイント設置

3月29日：田原市内の農場にて4例目の豚コレラの感染確認

約1,000頭の殺処分を開始

● 議会業務継続計画（議会BCP）とは

BCPは、「Business Continuity Plan」の略で、災害や事故など不測の事態を想定して、事業継続の視点から対応策をまとめたもの。大規模地震などの災害が発生した場合にも、迅速に議会機能の回復を図り、市民ニーズを的確に反映した復旧・復興に早期に取り組みるよう、田原市議議会では、昨年3月に議会BCPを策定しました。